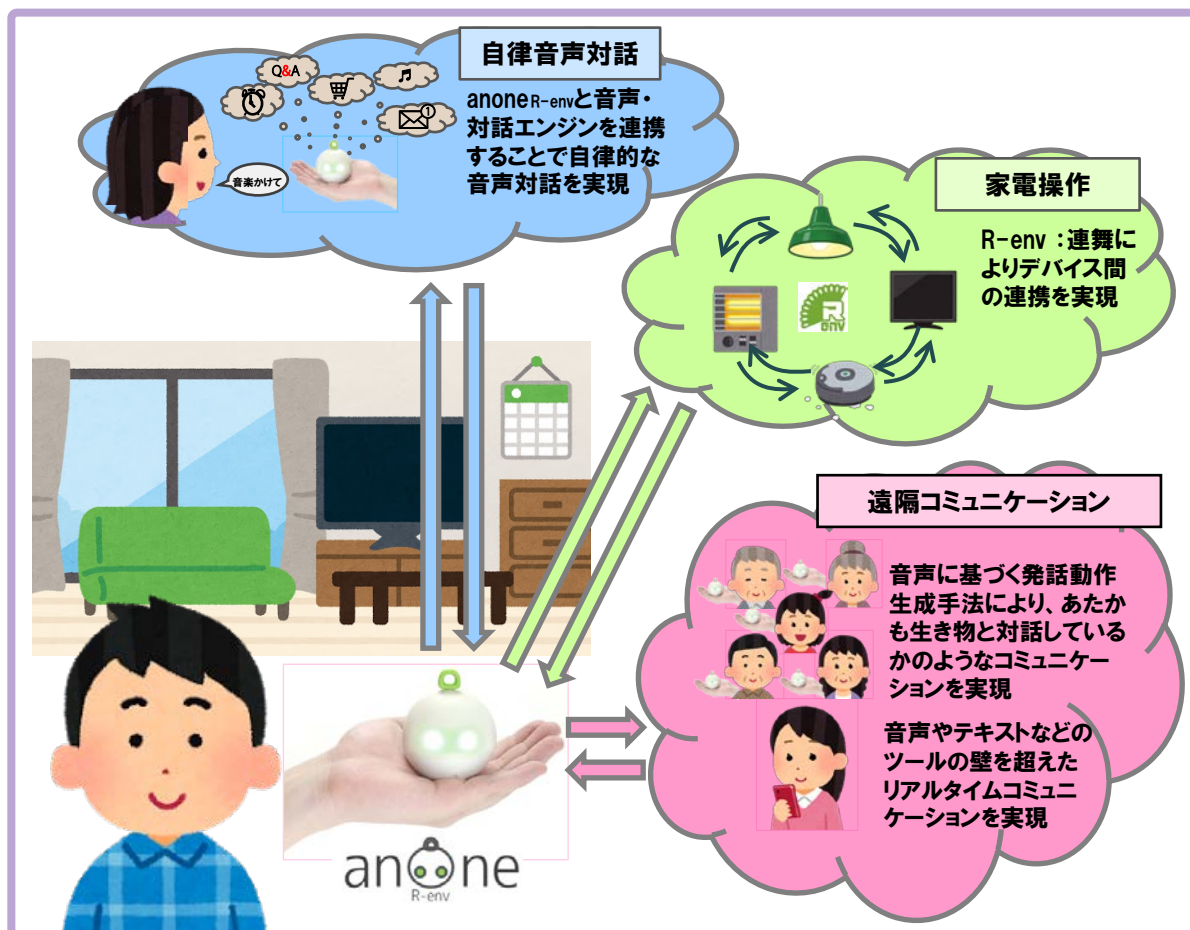


ロボットデバイスが居心地の良いリビングを創造します

家庭生活の中心となるリビングに、ロボットデバイスであるanone_{R-env}を置くことで、音声対話を通して気の利いた家電機器の操作を行い居心地の良い空間を演出します。また遠隔コミュニケーションにもanone_{R-env}を活用することで、リビングというシーンに合わせた、より安心感のあるコミュニケーションを実現します。



特 徴

- 音声に応じて動作を生成するデバイスanone_{R-env}による、生き物と対話しているような新感覚コミュニケーションの実現
- 遠隔コミュニケーション機能と、音声・対話エンジンによる自律音声対話機能との両方を同一のインターフェースで実現
- ツールの壁を超えた最適な遠隔コミュニケーションを実現
- R-env: 連舞を活用し、家電連携やanone_{R-env}間の連携を実現



利用シーン

- 遠隔に住む家族や友人とのコミュニケーション
- 移動中のハンズフリーでの通話
- メッセージアプリと音声通話による遠隔コミュニケーション
- 家庭内の家電を音声により操作

Collaboration Partner

ユカイ工学 株式会社(anone_{R-env}のプロトタイプ開発)